

# 水稲を核とした農業経営の安定化

～地域の和でつなぐ新たな農業への挑戦！～

活動対象：東川町東部地区（14戸2法人）

水稲の高品質米安定生産技術の確立、担い手の育成と交流の促進に向けて取り組んだ。  
結果、生産の取組については、高品質米生産技術改善実施戸数5戸、心土破碎実施農家1戸、秋すき込み時の腐熟促進剤試験取組農家1戸となった。担い手の取組については、栽培技術実践農家が2戸、農作業マニュアルの活用農家数は2戸となった。

## 1 課題設定の背景 平均年齢58歳 平均耕地面積23.5ha

稲作主体の地域だけど収量・品質に課題が...

地域の交流、若手の学ぶ場がない...  
労働力不足が深刻...

水稲の高品質米安定生産技術の確立

- 高品質米生産技術の推進
- 透排水性改善による乾田化の促進と稲わら処理の適正化

担い手の育成と交流の促進

- 若手農業者への栽培基本技術習得支援
- 新規雇用労働力の確保と農作業効率化

## 2 活動の経過

### ● 高品質米生産技術の推進

- ◆ R4の調査から各農家に改善点を提案した
- ◆ 一戸で除草剤試験を実施した
- ◆ 「普及センターからのお願い」でリアルタイムの情報を提供した
- ◆ 「稲のあゆみ」で今年の栽培を振り返った



幼穂形成期の伝達の様子



普及センターからのお願い(左)と稲のあゆみ(右)

### ● 若手農業者への栽培基本技術習得支援

- ◆ 後継者(3戸)と若手経営主(2戸)へ水稲基本技術向上のため研修会を計4回実施した
- ◆ 育苗ハウス内の温度を測定し、苗質調査結果と合わせて実態を把握した



育苗研修会と適期刈取研修会の様子

### ● 透排水性改善による乾田化の促進と稲わら処理の適正化

- ◆ 一戸に心土破碎を提案し実証した  
心土破碎実施後のほ場で、水位と土壌断面の調査を実施した
- ◆ 稲が小出来傾向の農家一戸に秋すき込みと腐熟促進対策の提案をし生育状況を確認した  
実施ほ場で、硫化水素の発生程度を調査し、効果を確認した



土壌断面

調査表にまとめたもの

### ● 新規雇用労働力の確保と農作業の効率向上

- ◆ 農作業マニュアルの追加作業用の写真を撮影した
- ◆ 雇用労働を入れた農業者に活用状況を聞き取った



聞き取り調査の様子

### 3 活動の結果

#### ● 高品質米生産技術の推進

- ◆ **5戸が高品質米生産の改善技術を実施した**
- ◆ 除草剤試験では、**雑草の発生を抑えることができた**(Bさん)
- ◆ 所有ハウスが少ない、ほ場が多いといった理由から、株間など適正管理が困難なケースがあることがわかった

農家	取り組み提案	実績(達成に○、R4→R5)
A	移植深の適正化	○ 移植深5cm→1.7cm
B	雑草処理	○ 提案除草剤による試験ほ設置
C	適切な栽培管理継続	○ 継続した栽培管理
D	苗質改善	— 調査欠測
E	苗質改善・移植深	□ 草丈15.4cm→10.8cm 移植深4.0cm→2.8cm
F	適切な栽培管理継続	○ 継続した栽培管理
G	適正株間	— 株間14.8cm→15.3cm
H	移植深	— 移植深3.0cm→2.7cm
I	苗質改善	— 草丈17.6cm→14.4cm
J	苗質改善	○ 葉数5.3枚→4.3枚
K	苗質改善	— 草丈16.4cm→13.8cm

#### ● 若手農業者への栽培基本技術習得支援

- ◆ 基本技術向上を図った5戸のうち、**2戸で技術が改善した**

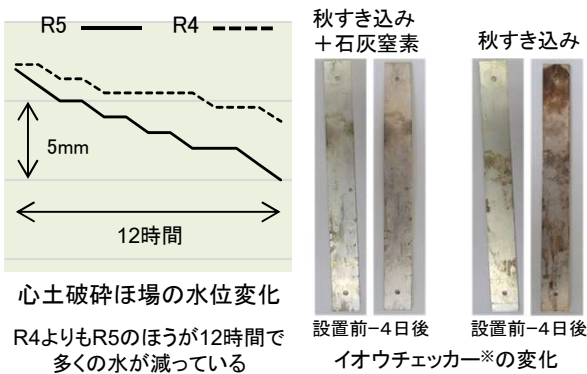
農家	苗の草丈 (cm)	移植深 (cm)	適期刈取	稲わら処理	技術向上
E	→ 中 10.8	× 2.8	△	×	
F	○ 中 12.3	× 4.0	○	○	○
H	× 成 14.2	× 2.7	○	△	
J	○ 中 11.9	→ 1.8	○	○	○
K	× 成 13.8	× 2.7	×	△	

#### 苗の草丈・移植深

前年に比べ ○: 向上 →: 問題なく維持 ×: 問題あり  
 適期刈取 ○: 適期刈取 △: 一部刈遅れ ×: 刈遅れ  
 稲わら処理 ○: 前年より秋すき込みが進んだ  
 △: 前年と同様 ×: 秋すき込みできず  
 栽培技術向上 ○: 3項目以上達成

#### ● 透排水性改善による乾田化の促進と稲わら処理の適正化

- ◆ 心土破碎を実施したほ場の**排水性向上が確認できた**  
農家からは「これまで排水性が悪く、ピークルを運転できなかった箇所も運転が可能になり、良かった」との声が聞かれた
- ◆ 秋すき込み時に石灰窒素を施用したほ場では硫化水素(ワキ)の発生が抑えられた



心土破碎ほ場の水位変化  
R4よりもR5のほうが12時間で多くの水が減っている

イオウチェッカー※の変化

※土にさして硫化水素の量を調べる道具。硫化水素が多いほど黒くなる。

#### ● 新規雇用労働力の確保と農作業の効率向上

- ◆ 2戸の農家で、マニュアルを活用した労働者の雇用があった
- ◆ 「作業を事前に動画やマニュアルで確認してから来るので、説明が楽だったし、作業する人もスムーズだった」という声が聞かれた
- ◆ 「しごとコンビニ」から、「農作業マニュアルの活用によって『農業で働きたい』という新規の人が増えている」という声が聞かれた。



マニュアルの一部(服装や作業内容について記載されている)

### 4 今後の活動

#### 水稻の高品質米安定生産技術の確立

- ◆ 引き続き、各戸へ栽培技術改善を提案し、生育および収量・品質の相関を確認する
- ◆ 透排水性不良ほ場における排水対策の提案およびその効果を確認する

#### 担い手の育成と交流の促進

- ◆ 改善目標を若手農家5戸に聞き取り、次年度に向けた改善支援を行う
- ◆ マニュアル活用は一定の成果が得られたため、活動を終了し、近隣市町村等に波及していく